

達成目標及び達成度評価

名古屋工業大学では、以下のような環境目的および目標を設定し、環境に配慮した活動を行っています。2023年度は下記の取り組みを行い、達成度は以下になっています。

目的	対象	2023年度目標	具体的取組	2023年度実績と達成度		基準年度(2013年度)実績比と達成度	
エネルギー使用量の削減	電力	前年度比1%以上削減する 基準年度(2013年度)比10%以上削減する	人感センサおよび高効率照明への更新	前年度比2.7%増	×	基準年度比19.7%減	◎
			高効率空調機への更新				
			実験用低温室や恒温室の適切な温度管理				
			ホームページに毎月の電力使用量を公表				
			省エネルギー対策実施の啓発活動				
	ガス	前年度比1%以上削減する 基準年度(2013年度)比10%以上削減する	高効率空調機への更新 ホームページに毎月のガス使用量を公表 空調機のフィルター清掃の実施	前年度比26.4%減	◎	基準年度比61.2%減	◎
省資源	水	前年度比1%以上削減する 基準年度(2013年度)比10%以上削減する	漏水管理の徹底 実験機器の使用水量の管理	前年度比0.4%減	△	基準年度比28.5%減	◎
	紙	前年度比1%以上削減する 基準年度(2013年度)比10%以上削減する	両面コピーの励行 電子媒体などの活用によりペーパーレスを徹底	前年度比3.9%増	×	基準年度比34.8%減	◎
	その他	リユースセンター活用を推進する	再利用システムの策定と学内広報	リサイクルに取り組んだ	◎	リサイクルに取り組んだ	◎
	可燃・不燃 紙類 ビン・缶 ペットボトル 発泡スチロール	前年度比1%以上削減する 基準年度(2013年度)比10%以上削減する	リサイクル推進によるごみ減量 プラスチックごみの資源化を推進 剪定枝類の資源化を推進	前年度比5.2%増	×	基準年度比30.0%減	◎
グリーン購入		100%達成する	環境物品などの調達を促すための方針策定	100%購入	◎	100%購入	◎
環境汚染の防止	化学物質	法律に準じた適正管理	化学薬品管理システムへの入力徹底	実施した	◎	実施した	◎
	PCB	2027年3月までに処理する	PCB廃棄物の適正な管理 PCB廃棄物処理計画の策定				
	排水	排水基準値以下を維持する	pHモニタによる監視 排水水質検査を実施				
	実験廃液	下水道・大気への放出を抑制する	実験廃液の回収				
環境教育の実施		環境教育を実施する	進級時のガイダンスで環境の取り組みを説明 全構成員に環境報告書を周知	実施した	◎	実施した	◎
環境コミュニケーションの実施		省エネルギーキャンペーンなどの実施により意識向上を図る	クールビズ・ウォームビズの推進による室内温度の適正化の推進(夏期28℃、冬期19℃) 講義室の節電対策の推進	意識向上を図った	◎	意識向上を図った	◎
学内美化・安全環境の推進	放置自転車	自転車を放置させない	自転車の整理・整頓を定期的実施	美化・安全環境を推進した	◎	美化・安全環境を推進した	◎
	分煙	学内分煙を推進する	喫煙場所の周知徹底				
	安全環境	学内危険箇所の改善を実施する	産業医、衛生管理者等による巡視の実施				
	清掃活動	学内清掃を実施する	学生有志及び職員による清掃活動の実施				

※ 数値は、御器所団地のものを示す。

◎：目標を達成できたもの

△：前年度程度の実績であったもの

○：目標の50%以上を達成したもの

×：目標を下回る実績であったもの

昨年度は新型コロナによる活動自粛から、大学の教育・研究活動がほぼ通常にもどり、電力の使用量が2022年度比で2.7%増加しました。また、紙の使用量が3.9%、廃棄物量が5.2%増加しました。紙の使用量の増加はトイレ用紙の増加が原因であり、廃棄物量の増加は事務局棟の改修工事で機密書類の処分量が増えたためです。なお、基準年度の2013年度と比較すると全ての項目で大幅に削減されており、省エネ対策が着実に進んでいます。